




報道発表資料の配付日時 6月30日(木) 14時00分

発表項目 (行事名)	観光船運航事業者等の安全対策・安全運航の取組について		
記者レクチャー のお知らせ	発表者		
	発表場所		
概要	<p>○ 道では、夏の観光シーズンを迎えるにあたり、道内各地を訪れる方々が安心して観光いただけるよう、北海道運輸局や北海道旅客船協会等と連携しながら、道内の各観光船事業者等が、運航地域ごとに異なる諸条件に対応し、自ら実施している「独自の安全対策の取組」をまとめ、この度、北海道のホームページで公開致しました。</p> <p>【掲載事業者】 28事業者／3団体（13事業者） ※うち、胆振管内2事業者 ・スターマリン株式会社 ・洞爺湖汽船株式会社</p>		
参考	公開URL https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/kankousen.html		

報道（取材） に当たって のお願い	道民の皆さまを始め、広く報道をお願い致します。		
他のクラブ との関係	同時配付	道政記者クラブ	
	同時レク	各（総合）振興局	記者クラブ

担当 (連絡先)	北海道胆振総合振興局商工労働観光課 商工労働観光課長 山田 担当：観光振興係長 島田 TEL 0143-24-9592 (内線：2425)		
-------------	---	--	--

スターマリンの安全対策・安全運航の取組

	(事業者名)	スターマリン株式会社
	(所在地)	室蘭市祝津町1丁目127番地12
	(電話番号)	0143-27-2870
	(運航コース)	噴火湾内 〔室蘭港内、地球岬遊覧、大黒島クルーズ、森蘭航路、白鳥大橋主塔登頂クルーズ等〕
	(運航期間)	例年4月～11月
	(運航船舶数)	2隻
	(会社HP)	https://star-marine.co.jp/

◆安全対策・安全運航の取組み

運航前の点検やメンテナンス

- ・法律に基づいて、運航前にエンジン等のチェック項目の確認を入念に実施し、点検簿に記録。
- ・出発前に、お客さんにその日の海の状況を必ず伝え、ライフジャケットも船舶の定員分を準備。



気象条件の慎重な判断

- ・安全管理規程では、室蘭港で風速10m/s以上、波高0.5m以上、視程300m以下を運行基準としており、風向き等により、社内で打ち合わせを行い、“迷った時はやめる時”としている。
- ・毎朝展望台(1~2カ所)で空・海・潮の状況を確認した上で、テレビや信頼性の高い情報サイト(5社)を確認し、運航可否を判断。



他船との連絡体制強化


- ・運航している噴火湾には同業がないため、事務所内の運航管理者及び自社が保有する旅客船以外の船舶(※)との連絡体制を構築。常時3隻以上がいつでも出航可能な体制を整えている。
- ※釣り船、小型作業船を複数保有。
- ・通信会社からの依頼により、運航海域の電波調査を実施し、運航エリアは全てNTTでの通話が可能であることを確認済み。日本小型船舶検査機構より許可を取得し、運航中の連絡体制は携帯電話を利用。
- ・周辺の釣り船の船長(個人等)の連絡先を把握しており、出航前や運航中に情報交換を実施。



◆PR事項

- ・弊社は、引き船(えい航)やサルベージ(沈没船の引き上げ作業)も行っている海のプロフェッショナルです。
- ・HPの安全情報サイトをリニューアル中です。
- ・SNSでも日々の運航情報を更新しています。(Instagram: 01starmarine43)
- ・皆さんに楽しんでいただけるよう、出航準備は万端です!
- ・これからも「海は楽しい」ことを皆さんに発信していきたいと考えています

洞爺湖汽船の安全対策・安全運航の取組

	(事業者名)	洞爺湖汽船株式会社
	(所在地)	虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉 29
	(電話番号)	0142-75-2756
	(運航コース)	洞爺湖(中島巡りルート、花火鑑賞ルート)
	(運航期間)	通年
	(運航船舶数)	3隻
	(会社HP)	https://www.toyakokisen.com/

◆安全対策・安全運航の取組み

運航前の点検やメンテナンス

- ・法律に基づいて、船長・機関長が船体や機関を入念に点検し点検簿に記録。
- ・メンテナンスも常日頃から行っており、異音等の異常があった場合は、運航管理者に速やかに伝達し、修繕している。
- ・緊急時に自動で開く救命浮器をデッキに常備。



気象条件の慎重な判断

- ・安全管理規程では、風速 15m/s 以下、視程 300m 以上、波高 1m 以下を運航の条件としているが、情報サイトや風向き等により、社内で打ち合わせを行い、条件に達していなくても早い段階で判断している。
- ・湖は、風向きにより波の立ち方も違うため、より慎重に判断。
- ・荒天の予報の場合は、予約日の3日前から確認を行い、最低でも前日には出航可否の判断を行う。



他船との連絡体制強化

- ・湖に同業はいないため、自社内(船舶および連絡事務所、運航棧橋間)の連絡体制を構築。
- ・中島巡りルートは、常に往路と復路で2隻が同時に運航し、お互いの状況を共有している。
- ・子会社のモーターボートとも無線周波数を合わせており、運航等の状況を共有している。
- ・常時稼働できる予備船を常備。
- ・急な濃霧でもレーダーを搭載しているため、自船の位置を常時把握している。
- ・洞爺湖内(水上)では一般の携帯電話での通話が可能。



◆PR事項

- ・湖での運航であり、弊社が所有する 400t (700 人乗り) の船は横幅もあるため、多少の波があっても大きく揺れることはほぼありません。
- ・中島巡りルートでは、「大島」へ上陸し、散策を楽しむこともできますが、帰りの船が急な天候の変化によって出航ができず、島から帰ることができなくなる場合を想定し、シビアに天気予報や風・波を確認し、少しでも天候の変化を感じた場合は、散策を中止するようにしています。
- ・散策される方の氏名・携帯番号の確認を行うほか、出入りロゲートのカメラ記録など、散策中の行方不明者が出ないよう管理しています。
- ・2021 年度、中島の博物館をリニューアルしました！
自然豊かで風光明媚、最高のロケーションがある洞爺湖にぜひお越し下さい！